

4. 南関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連  (南関東)	良くなる	コンビニ（経営者）	・これからますます暑くなれば、飲料関係をはじめ、すべてにわたって販売量が増える。以前より上昇していることは事実なので、良くなる。
		家電量販店（経営企画担当）	・今年度最大のカンフル剤のプレミアム付商品券が売上を下支えするのは確実で、消費者心理が好転している。悪い材料が少ない。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・海外からの客が増えることと、オリンピックに向けてますます産業が増え、旅行者も増えるため、良くなる。
		観光名所（職員）	・6月は梅雨入りで旅客が少ないが、2～3か月先は夏休みに入るため増えると期待している。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・梅雨の長さや夏の天候次第だが、この流れが続けばおそらく好調を維持する。ただし、長期予報では梅雨が長引きそうとのことなので、不安要素がある。イベントのスポンサーは順調についてきているので、世間一般の景気も堅調だと思う。
		商店街（代表者）	・地方創生事業のプレミアム付商品券が販売され市中に商品券が流通することで、一時的ながらも零細商店街にも潤いの循環が巡るのではと期待している。
		一般小売店〔家電〕（経理担当）	・ボーナスが増額された会社も多くみられ、残業も若干多い会社も出てきているので、良くなる。
		一般小売店〔家具〕（経営者）	・株価が上がっていることで、世の中は非常に明るいムードになってきている。ただし、個人消費がこれから良くなるかという点、なかなかそこまではいかないと思うが、これから先は少しずつ良くなっていく。
		一般小売店〔祭用品〕（経営者）	・最盛期を迎えるので、良くなる。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・株価は上昇ムードで上がってきており、国や地方が発行するプレミアム付商品券も出回ってくるので、その影響でプラスになる。
		一般小売店〔米穀〕（経営者）	・全般的な経済状況も良さそうにみえるし、明るい話題もいくつか出てきているので、やや良くなる。
		一般小売店〔文房具〕（経営者）	・先月下旬から客単価が上昇しているため、やや良くなる。
		百貨店（総務担当）	・消費税増税の影響もほぼなくなり、また、官民のボーナスが名目上は上昇しているとの報道もあるので、消費マインドの上昇が見込まれ、売上也それに応じてやや良くなる。
		百貨店（広報担当）	・6月後半に入りITバブル期以来の株高を更新し、しばらくは国内富裕層の購買意欲は衰えず、好景気が継続しそうである。また、インバウンド関係の売上也継続して伸び続けており、当店では本年度に入り、平均して2.5倍程度のペースで売上が伸びている。ただし、長期予報によれば今年の梅雨は長めになるなど、天候不順による衣料品の販売不振が懸念される。
		百貨店（広報担当）	・民間企業の賞与も堅調で、インバウンド消費なども重なり、今後についても消費の回復が見込まれる。
		百貨店（営業担当）	・売上高は堅調に推移している。来街者も外国人を中心に増加している。一方、前年の消費税増税の反動減も薄れ、前年に対する伸び率は鈍化傾向にある。都心においては今後、外国人観光客の購買による期待も込めて、現状より若干上振れする。アウトバウンド需要の変化により、今後の見通しは大きく左右される。
		百貨店（店長）	・衣料品についてはインバウンド以外は良くないが、その他は明るさがみえている。
		スーパー（店長）	・安い物は当然売れるが、それ以外のちょっと良い物、単価は張るが良い物が少しずつ売れてきている。1点でも売れば単価が高い分、売上増が見込めるので、客にきちんとアピールしながら売っていきたい。3か月後の景気については、今よりも良くなっていかなくては困るので、期待も込めてやや良くなる。
		スーパー（総務担当）	・賃金が上がっていることと、夏のボーナスも若干増えるという情報から、客の買い方がより一層活発になってくるのではないかと。7～8月の天候が例年以上の暑さで降雨量が少ないということが前提となるが、景気自体は上向く。
	コンビニ（経営者）	・気温の上昇とともにジュース類の販売が伸び、来客数が増える。	
	コンビニ（経営者）	・全般的な経済状況を見るとあまり良くないが、季節的要因で暑くなるとコンビニは売上が上がるので、やや良くなる。	

コンビニ（経営者）	・季節要因でコンビニ業界は夏場が最大の売上になるためである。	
衣料品専門店（経営者）	・8月末に発売するプレミアム付商品券が少しずつ話題になり始めている。当店でも売れるよう7月から仕掛けを始め、売上の大幅増を図る。	
衣料品専門店（経営者）	・景気が上向きになっているので、2～3か月先は夏物バーゲンに終始せず、早めの秋物、新商品の投入や客へのアプローチなど、積極的な展開を計画している。客の購買意欲も感じられるようになってきている。	
乗用車販売店（渉外担当）	・来客数は変わらないものの、新型車やハイブリット車中心に個人消費が上向いてきて前年比110%の受注で推移している。ただし、今までよりやや良いというレベルなので、楽観視はできない。	
乗用車販売店（総務担当）	・景気が引き続き良好であれば、客の購買意欲が出てくる。	
住関連専門店（営業担当）	・緩やかではあるが景気の回復基調がみえてきたことと、政府の省エネ住宅に関するポイント制度等の施策の後押しもあり、住宅リフォームの受注が引き続き堅調である。年内はこの流れが続いていく。	
その他小売〔雑貨卸〕（経営者）	・政府の打つ施策が的確で当を得ている。	
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・プレミアム付商品券の流通に伴う売上拡大を期待している。	
一般レストラン（経営者）	・一般的に夏季に売上が伸びる傾向があり、今期はやや景気が良くなっているため、3か月先も引き続き売上が伸びる。	
旅行代理店（経営者）	・問い合わせは沢山来ているので、この調子でいけば近々景気が上がってくるのではないかと感じている。	
旅行代理店（従業員）	・娯楽に使う費用が多くなっている。	
旅行代理店（営業担当）	・引き続き申込が好調である。	
タクシー（経営者）	・大手企業の賞与が増えていることや、春闘の結果が前年より良いためである。	
通信会社（経営者）	・ケーブルテレビの上位コースを選択する人が増加している。	
通信会社（管理担当）	・MVNO（仮想移動体通信事業者）のパイが小さく、安いものに飛びついて大きく消費行動が動く兆しが少ない。本格的な群雄割拠での奪い合いは、電力の自由化までは沈静化している。	
通信会社（総務担当）	・夏期ボーナスの支給と夏のレジャー効果で景気が少し上向く。	
通信会社（経営企画担当）	・しばらく増加傾向にある。	
通信会社（管理担当）	・就業人口が増えて、給与所得も増えることで景気が回復する。	
その他レジャー施設（経営企画担当）	・催事や宿泊の予約は堅調に進行している。天候に左右される事業であり、長期予報では良い天候のようなので、良い結果を期待している。	
その他サービス〔福祉輸送〕（経営者）	・大企業を中心に前年の業績が次々と発表されており、景気が非常に回復されているようである。また、給与が上昇したこともあり、政策期待感が続く限りは消費も広がっていく。法人の自動車に対する投資なども進むのではないかと期待している。	
その他サービス〔立体駐車場〕（経営者）	・近隣の商店などの来客数が増えてきているように感じる。	
設計事務所（経営者）	・民間の客のなかには新築よりも改修工事に目を向けている向きがある。現在、客の問い合わせ電話においても、やはり改修に対する質問が多く、行政の仕事以外でも改修の仕事に結び付いている。今後が多少明るいものとなりそうなので、営業や来客の対応が非常に重要だと考えている。	
設計事務所（経営者）	・まだ動いていないプロジェクトが動き始めているため、やや良くなる。	
住宅販売会社（従業員）	・資料数が徐々に増えてきている。	
変わらない	商店街（代表者）	・当店の通行量が若干減っており、買物袋を持って通行する人も少し減っている。小売業にとって売上を前年よりも増加させることは非常に難易度が高く、前年並みに売ること自体も大変である。
	商店街（代表者）	・最近の天候は良くないため、何とか落ち着いた天候になってほしい。梅雨が明けなければ良くなる。

一般小売店〔和菓子〕 (経営者)	・7月からまた食料品などの値上がりがあり、消費はまだ鈍いのではないかと思う。
一般小売店〔家電〕 (経理担当)	・このところの動きが続くのではないが、好景気になる要素があまり見受けられないが、7月にプレミアム付商品券が出るので、それには期待している。
一般小売店〔印章〕 (経営者)	・8月に発行総額26億円のプレミアム付商品券が販売されるが、当社の取扱商品が目的買い商品のため、なかなか思うようには売上が伸びないが、多少なりとも期待はしている。
一般小売店〔文具〕 (販売企画担当)	・外商等ではそこそこ案件数が決定している。ただし、そこそこのので、今現在とあまり変わらない。急激に景気が良いということではないし、逆に下降線をたどっているということでもない。
一般小売店〔茶〕(営業担当)	・この時期はむしろ暑さが影響してか、水出し煎茶や麦茶等は売上が伸ばしているものの、熱いお茶の原料はなかなか売上げには結び付かない。
百貨店(売場主任)	・内需に関してはインバウンドが中心であり、郊外店、地方店にとっては厳しい状況が続く。
百貨店(総務担当)	・株価等の上昇による一部の層に景気上昇の兆しはみえるが、インフラや実質賃金の点からみると全体的に変わらない。海外の状況はこれからは株価が落ち着いていかないという予想もあり、非常に不透明なため、若干良くなる兆しもあるが不安定要素の方が強いので、変わらない。
百貨店(総務担当)	・今後も厳しい状況が続くと考えているが、高額品の動きは悪くはなく、一部の高額所得者は株高などを背景に含み益が確定しており、購買につながっている。起爆剤として営業政策のヒントにしていきたい。
百貨店(営業担当)	・例年に比べ、気温が高く比較的安定している。夏物衣料、服飾雑貨が堅調に動いている。ただし、円安、株高の割に美術、宝飾時計等の高額品はさほど良くない。個人消費への波及にはまだ時間がかかりそうである。
百貨店(営業担当)	・円安の影響が色濃く出てくるのが秋物商戦ではないかと考えている。価格に転嫁する方向が主であり、価値が価格を上回る商品を展開するのは難しく、厳しい状況は変わらない。
百貨店(営業担当)	・中程度から高額所得者は、今の微増で安定する。しかし、ボリューム層の所得が増えない限り、良くなるとは思えない。
百貨店(営業担当)	・セールの遅れで定価強化を促進しているが苦戦傾向で、クリアランスでの定価、特価の併売もしづらくなる。秋も引き続きトレンドが出てくるので、シーズントップはまだ良い方だと思うが、大きく消費が進むということではない。
百貨店(販売促進担当)	・消費に対しての慎重な姿勢は、今後も続く。
百貨店(計画管理担当)	・主力である婦人服の秋物の動向により、景気判断が大きく左右されるが、今のところどのような展開になるか想像がつかない。
百貨店(店長)	・富裕層には明るさがみられ、時計、宝飾、美術に動きはあるものの、その他の一般商品はおしなべて厳しい状況から抜け出せないでいる。
百貨店(副店長)	・6月の中元商戦に関しては若干出足は鈍く、やや厳しい推移となっている。今後については、7月に入ってから受注増につながるのか、ファッション関連商材のセールも控え、客の動向に注視している。
スーパー(販売担当)	・競合との価格競争もあり、平均単価が下がっている。買上点数は前年を上回っているが、客1人当たりの買上額は前年を超えない状況が続いている。今後もこの状況が続くような気がする。
スーパー(経営者)	・競合店ができて非常に厳しい状況であり、解決するには少し時間がかかりそうである。本来であれば徐々に良くなるなければいけないが、なかなか現実には難しい。
スーパー(店長)	・客の購買動向にさほど変化はなく、しばらくは同じような状況が続く。
スーパー(店長)	・来客数は確保できているが、1品単価上昇に伴い、客の買上点数が多少下落傾向にある。必要な物は購入するが、ついで買いや無駄遣いなどは抑えられている。この傾向は先月、今月と継続しており、買い控えの傾向にある。
スーパー(営業担当)	・国内では円安、株高の状況がまだ堅調に続くと思われるが、ギリシャをはじめとした欧州や新興国などの世界経済の状況が、今後、大きく日本経済に影響を及ぼす。
スーパー(仕入担当)	・7月より仕入原価が高くなる商品が増え、売価も上げざるを得ないため、販売量は減少する。

スーパー（仕入担当）	・円安やコスト高による商品の価格改定が実施されるが、実勢価格にすぐ反映されるか疑問である。各社とも他社の動きをみながらの対応になる可能性が大きいため、売上への影響は少ない。
コンビニ（経営者）	・ドーナツやコーヒーの新規商品が相次いで登場している。客の嗜好が大きく変化しているようだが、一般商品の伸びは考えられず、現在と同じ傾向で推移していく。
コンビニ（経営者）	・当店は駅前にあるが、子どもや若い人の来店が大変少ない。最近が高齢化が目立ち、近隣に病院等もある関係で60～80歳代ぐらいの客が大分目立ってきている。これから先、若い人にも沢山来てもらいたいし、いかに高齢者に来てもらうかということを考えて商売をすれば何とかかなとは思うが、心配なところでもある。
コンビニ（経営者）	・弁当など高単価の商品も想像以上の売行きで好調だったり、価値のある物は買い求める傾向は高くなっている。梅雨明けが平年並みであれば、7月以降の回復は期待できる。
コンビニ（エリア担当）	・来客数の戻りが弱く、大きな改善要素も見当たらない。ただし、昨年のような台風などの気温の乱高下がなければ前年ペースで改善する。
コンビニ（商品開発担当）	・来客数が回復する兆しもなく、今後も厳しい状況が予想される。
衣料品専門店（経営者）	・より一層厳しい状況が変わらずに長引き、苦しいシーズンとなる。買物に対する一段とシビアな感覚が怖い。
衣料品専門店（経営者）	・夏のボーナスや景気が上向きになるというニュースはよく聞くが実感はなく、まだ先のようなのである。ただし、プレミアム付商品券に対する反応は大変良い。どの程度効果があるかは、実際使用時期に入らないと分からない。
衣料品専門店（経営者）	・今のところ若干持ち直してはいるが、8月にどうなるかまだ分からない。当地域ではこれからプレミアム付商品券が発行され、期待する声と期待しない声との両方あるが、若干期待したい。
家電量販店（店員）	・インターネットとの融合化によりかなり隔たりが出ているため、景気は横ばいである。
乗用車販売店（経営者）	・自動車の整備は順調だが、販売があまり芳しくなく前年と比べて3割減となっている。
乗用車販売店（経営者）	・しばらく新車の販売台数が伸びてこない。
乗用車販売店（販売担当）	・大手レンタカー会社で景気ももっと良くなる、建築関連はもっと増えるというので、大型ダンプカーの受注を相当していたが、レンタル大手各社、各トラックメーカーがキャンセルを出してきている。100台単位のキャンセルなので、予測ほどは伸びていないということなので、現状維持で変わらない。
乗用車販売店（店長）	・景気回復の材料があまりみられない。ボーナス商戦なので来店率や商談数が増えていない。
その他小売〔ゲーム〕（開発戦略担当）	・コンソール向けは引き続き良くなる材料がない。北米のゲームショーも特に大きなものはなかった。
高級レストラン（副支配人）	・法人関連の宴会予約は、前年並みで推移している。
高級レストラン（仕入担当）	・2～3か月後に販売単価を上げられるほど景気が良くなっているとは考えられない。
一般レストラン（経営者）	・2～3か月後は7～9月となるが、毎年のことだが8月は特に売上が落ちる月である。我々飲食業界では、ニッパチとって2月と8月は売上が落ちる時期なので、今よりは景気が悪くなる。
一般レストラン（経営者）	・依然として不透明感はぬぐえない。近隣の各種イベントの人出も今一つである。
一般レストラン（経営者）	・3か月後に消費税増税の話題が上がってこなければ、変わらない気がする。景気が上向いてもっと良くなってくればいいが、少子高齢化社会による労働力の低下等で人材不足が続き、賃金も少しずつ上がっているため、経営の圧迫が考えられる。
一般レストラン（経営者）	・相変わらずの円安で仕入価格の上昇、人手不足による経費の増大となり、アベノミクスによる経済効果は我々零細企業にはほど遠い話である。
一般レストラン（経営者）	・以前よりも暇な日が減ってはきているが、かといって大盤振る舞いをするというような状況ではなく、やはりメニューを選択しながら予算内で食べて帰るといった客がほとんどである。

一般レストラン（スタッフ）	・街の様子をみてもあまり動いておらず、皆それほど買物をしていない。当店でも来客はあるので落ちてはいないが、そう儲かってもない。
都市型ホテル（スタッフ）	・物価の値上がりなどもあり、個人消費はこのままでそれほど伸びない状況が続く。
都市型ホテル（スタッフ）	・夏休みに入るといってもあり、個人利用については期待したいところだが、法人を中心に先々の予約の動きが全体的に鈍く、現状からみても景気は回復していないため、2～3か月先も変わらない。
都市型ホテル（総務担当）	・インバウンドの流れは、今後も継続する。
旅行代理店（従業員）	・先の受注状況が前年度よりも悪く、前々年度と比べても若干良くなっている程度である。
旅行代理店（従業員）	・株価は上がっているが、会社の業績向上による給料への反映まで至っていない。
旅行代理店（販売促進担当）	・2～3か月後は8～9月となり、法人については9月の入込が若干動いている。個人については夏休みという最大の繁忙期になるので、国内については順調だが、海外が韓国のMERS（中東呼吸器症候群）などの影響もあって今一つのため、変わらない。
タクシー運転手	・一般的には景気が上向いているというが、我々中小企業ではまだまだである。これからの動向が気になる。
タクシー運転手	・2020年のオリンピックの準備期間中で、工事など内需が拡大し景気を刺激していると思うが、ギリシャの金融支援の延長問題が日本にも何らかの影響が出てくると思うので、しばらくの間、景気の動きはない。
タクシー運転手	・夜に人出がなく静かである。
タクシー運転手	・タクシー業界は悪いが、客の様子から会社の業績は悪くなっていない感じがする。昼間の営業を増やして何とかしのいでいる状態であり、今後も昼の仕事を増やしていきたい。
通信会社（経営者）	・4KのVOD配信サービスなどのコンテンツ不足もあり、顧客ニーズは盛り上がり欠けている。
通信会社（経営者）	・ボーナスシーズンだが、通常月との変化があまりみられず、支出を抑えていることが考えられる。
通信会社（社員）	・加入の伸びがやや鈍化しているものの、今後、大きなマイナス要因もなく、現状の体制が維持できれば順調に目標をクリアできる。
通信会社（営業担当）	・先行きに対する不透明感は続いており、今の状況がしばらく継続する。
通信会社（営業担当）	・ここ数か月契約数は横ばいであり、この傾向はまだ続く。
通信会社（局長）	・ウェアラブル端末やMVNO（仮想移動体通信事業者）が浸透するまでは、当業界は馬なりの景気である。
通信会社（営業担当）	・良くなると思える材料がない。物価上昇傾向に収入上昇が追い付いていない現実があり、情報通信サービス等の固定支出をどれだけ抑えられるかという思考からは、しばらく抜け出せないのではないかと感じる。
ゴルフ場（支配人）	・料金設定にあまり割引がなく、例年同期並みの予約数となっている。
パチンコ店（経営者）	・以前に比べて客は若干増えているかもしれないが、売上はやや減少傾向で、客がお金を使う台ではあまり遊ばなくなっている。ただし、長い目でみると、安く遊べる台が増えた方が未永い営業ができるのではないかと、客層が増えるのではないかと感じている。この先は現状のままで変わらない。
その他サービス【保険代理店】（経営者）	・これから夏場にかけて購買意欲も減少し、売上の回復は期待できない。景気は思った以上に良くない。
その他サービス【学習塾】（経営者）	・景気が悪化している実感はないが、良くなっているとも感じられない。
設計事務所（経営者）	・一部では高額品の売行きが良い等、景気回復の兆しがあるようだが、周囲をみる限りでは考えにくい。政権も安定しているようなので、当分はこのままの景況観で推移する。
設計事務所（所長）	・状況に全く変化がなく、現時点では先行きは大変厳しい。公共物件に期待したい。
設計事務所（所長）	・先がみえる情報はなく、どのように動くか不明である。景気が良くなる情報は流れてはいるが、大手が動いているのみで、零細企業には無縁である。
設計事務所（職員）	・今期の売上目標の達成は厳しい状況である。大型案件の受注に期待はしている。
住宅販売会社（従業員）	・イベント、キャンペーン等で様々な手は打っていると思うような集客にはつながらず、受注、売上共にこの状態はしばらく続く。

	住宅販売会社（従業員）	・集客数は微増だが、競合も激しく販売量は横ばい状況が続く。これから暑い時期になるため、例年どおり集客数が減ってしまうのではないかと危惧している。
	住宅販売会社（従業員）	・今の状態が良いだけに、これ以上は見込めないと感じている。仕入の状況が厳しくなってきたり、在庫の確保が課題になりそうである。戸建て分譲の動きはあまり良くない。
	住宅販売会社（従業員）	・営業努力により何とか受注数は維持しているものの、今後、売上の増加は見込めず、粗利獲得は厳しい。
やや悪くなる	一般小売店〔靴・履物〕（店長）	・大企業や公務員などは景気が良いようだが、年齢が高く年金受給者が多い地域の客は、やはり物価がこれだけ上がり、可処分所得が少なくなると買えなくなるので、景気が悪くなるのではないかと非常に心配している。
	百貨店（販売促進担当）	・今月は前年の消費税増税によるマイナス影響があるが、今後、その影響が小さくなっていくにしたがって、外国人による売上増以外に大きな増加は見込めない。厳しい状況になっていく。
	百貨店（販売促進担当）	・春闘の結果を受けた夏季賞与の支給が始まることや、株高等で一部には景気が良くなる期待があるものの、食料品の値上げが続いているなど、消費に対する防衛意識が働いている客が多いため、やや悪くなる。
	百貨店（営業企画担当）	・更なる消費税増税の影響が懸念される。
	コンビニ（経営者）	・ものが値上がりし、客はますます買い控え、1品少なく購入するという傾向が続く。
	コンビニ（経営者）	・今月に入って物の動きがやや鈍くなってきている。
	衣料品専門店（店長）	・手取り収入が増えていない状況で物価が上昇しており、衣料品に回ってきていない。輸入材料費が上がってきているために商品単価が少し上がっているため、購入にブレーキがかかっている。
	衣料品専門店（営業担当）	・2～3か月先は夏の最終クリアランスで単価も低く、売上もかなり厳しく落ち込む予想はいつもどおりだが、秋物が立ち上がっても例年どおりの厳しいスタートとなりそうである。
	家電量販店（統括）	・冷夏となる予報が出ているため、夏物商材の販売が低迷する。大きな伸びは期待できない。
	乗用車販売店（営業担当）	・夏休みなどの出費に備えるため、必要に駆られないと自動車には出費しないように思う。
	住関連専門店（統括）	・景気が良くなる見通しもまだなく、その要素もないため、来店客が消費を控えている状態で、売上に伸びがない。
	旅行代理店（従業員）	・7月以降の国内団体旅行の動きが鈍い。10名前後の動きはあるが、50名以上の大型団体は動いていない。
	タクシー運転手	・朝の早い時間帯と夕方は仕事があるが、昼間と深夜の利用が非常に悪く、飲食街も今一つで活気がなく、オーダーも減っている。当分、この状況が続くそうである。
	通信会社（営業担当）	・客の収入に変化はなく、将来に備えて支出を減らし、貯蓄する傾向にあるため、消費行動はやや悪くなる。
	ゴルフ場（支配人）	・長期天気予報、商品の販売、食事の単価、高齢化に伴う健康問題等、総合的にみても来客数の増加はなかなか難しい。
	その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・塾全体として値引き競争が激しくなっているため、景気としてはあまり良くない。塾の乱立、体験授業の延長により、来客数も少なくなっている。
設計事務所（所長）	・仕事量が非常に少ない。新築物件も非常に少なく、更に人手不足でなかなか厳しい。	
その他住宅〔住宅資材〕（営業）	・先々の物件の情報を集めているが、スタートする時期が未定などの話が多く、実際の受注につながる案件が減少している。	
悪くなる	一般小売店〔茶〕（経営者）	・6月は来客数、売上共に低迷している。厳しい状況は変わらない。
	一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	・オーバーストアのため、悪くなる。
	その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	・これから夏に向けて食料品の需要は落ちると思われる。最近の日本人は特に日常生活にお金を使わなくなっている。
	一般レストラン（経営者）	・今でさえ景気が悪いのに、株価等が下がって大手企業の景気も悪くなったら、もう終わってしまうのではないかと。
	一般レストラン（経営者）	・来月の宴会の予約表をみると、金、土曜日などの週末に集中して入っているが、平日は空いている日が多くみられるので、悪くなる。
	ゴルフ場（従業員）	・人口減少、高齢化社会、安全保障関連法、原発問題、年金の個人情報漏洩等、この先どうなるのか不安ばかりである。景気が良くなるとは思えない。

		住宅販売会社（経営者）	・大企業の従業員は所得が多少増えつつあるかもしれないが、中小企業の従業員の所得は全く増えず、物価が上昇しているために購入意欲が激減しているようである。何とか中小企業もベースアップができるように、景気を回復させてほしい。消費税については一律ではなく、ものによって考えるべきで、住宅は免税している国が多い。
企業動向関連 (南関東)	良くなる	その他サービス業〔ソフト開発〕（従業員）	・株価の推移から希望も込めて良くなってほしい。仕事も忙しくなってきたので、すぐではないにしても良くなると思って頑張りたい。
	やや良くなる	食料品製造業（経営者）	・話がいろいろと出てきており、動きも出てきている。まだ数字にはなっていないが、期待しているところである。
		食料品製造業（営業統括）	・天候次第とはなるが、期待が持てる。
		繊維工業（従業員）	・周辺の雰囲気、希望的観測ではあるが良くなるのではないかと。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・例年どおりであれば季節的に売上が上昇する傾向にあるため、特に新規の事業が増加するわけではない。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・10年以上前に有限会社を設立した中小企業が、ここへきて株式会社にするという話があり、さらにもう1件もそのような話がある。この時期に、有限会社から株式会社へという話が割とあり、少し上向きになっていると感じている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・売るための様々な仕掛けをめぐらせており、新商品開発も進め、海外市場へのPRもしている。これだけ一生懸命やっているのだから、結果が出ると信じている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・これから先、中間決算に向けて需要が増える見通しなので、現在のところは決して良い状況ではないが、上向きへ変わることを期待している。
		建設業（経営者）	・この景気がしばらく続き、消費税増税までは良いのではないかと。
		建設業（経営者）	・徐々に景気回復はみられるものの、国内情勢や海外情勢で動きがどうなるのか心配である。消費税増税も一因である。
		建設業（営業担当）	・景気の押し上げにより、企業などの設備投資が増えている。人手不足等の問題もあるが、細かい改修工事等が特に増えてきている。
		通信業（広報担当）	・景気が徐々に良くなる。
		金融業（統括）	・景気全般は上向き基調になる。マインド的にも、海外からの受注も良くなっている。ただし、懸念はギリシャ情勢がどうなるかである。
		金融業（従業員）	・設備投資について、前向きな取引先が少し増えてきたように感じられる。ただし、業況が改善している事業者と、一向に改善しない事業者との差は大きく、景気回復の裾野は広いものとはなっていない。
		金融業（支店長）	・企業業績の好調さが個人消費につながり始めており、先行きは明るい。
		金融業（営業担当）	・製造業を中心に受注の見込みがやや出てきていることと、設備投資の話が多くなっていることで、売上が上がって良くなっていく。また、融資の需要があり、延滞も少なくなっているため、全体的に良くなる。
		金融業（役員）	・製造業の設備投資意欲の積極化以外にも、地方創生関連の起業や外国人観光客を対象とした事業などが少しずつではあるが、景気を上向かせていくような気がする。
		税理士	・アメリカの景気が良くなっており、日本車や日本製品が売れている。その一方、中国等是不透明だが、アセアン諸国は堅調である。日本国内は、アベノミクスによる政治のリードにより、景気が良くなっていくのではないかと。
		経営コンサルタント	・大手の好況の波及効果が少しずつ出てきている。
		その他サービス業〔警備〕（経営者）	・業界全体が動き出してきている。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	・オリンピック効果があるのではないかと。
	変わらない	食料品製造業（経営者）	・値上げが続くと、小売はまだ良くならない。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・見積り依頼が少ないので、この先、仕事が苦しくなってくる。
		化学工業（従業員）	・出荷量が減少しており、路線便より宅配便の利用が大幅に増えている。客先でも在庫縮小の傾向にあるため、今後、良くなることはない。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・ギリシャの問題等を含めてどのような方向に行くのか、まだ先行き不安定な要素が多いため、急に景気が良くなるとは思えない。

プラスチック製品製造業（経営者）	・消費税増税で受注が落ち込んだ後、なかなか回復せず、新企画の立ち上げも大幅に遅れそうで、しばらく厳しい状態が続きそうである。	
一般機械器具製造業（経営者）	・前年に試作した商品が、この夏あたりから秋口にかけて何点か立ち上がる。それは皆、単価的に問題のあるものしかなく、困っている。良くはならない。	
その他製造業〔靴〕（経営者）	・毎年のことだが、梅雨や夏のシーズンは低調気味なので、秋になればシーズンが良くなり、それほど大きな変化はなく、従来どおり進む。	
その他製造業〔化粧品〕（営業担当）	・美容業界にはまだ景気が良いという実感はなく、むしろ来店周期の長期化など、悪いという声が多い。	
建設業（経理担当）	・工事案件は幼稚園、保育所、老人ホームと、製造業からの引き合いはほとんどない。周辺企業の生産単価は厳しく、設備投資する余裕はないと耳にする。まだ本来の景気良さは味わえない。	
輸送業（総務担当）	・景気が上向いているという情報は多くなっているものの、依然として業況は厳しく、現状では2～3か月先が良くなるか見通せないため、変わらない。	
不動産業（経営者）	・新築も厳しい現状である。管理物件が老朽化し、当社もオーナーから相談を受けているが、しばらくは駐車場にするように準備している。	
不動産業（経営者）	・テナント物件の問い合わせの多くは飲食関係で、賃料を下げても決まらない。	
不動産業（総務担当）	・沢山のテナントを抱えているので、すべてのテナントが好調とは限らず、なかにはグループ会社との統合、吸収などにより退室が予想されているテナントもあるなど、当面は景気の良し悪しも一進一退の状況が続く。	
広告代理店（従業員）	・新規に入る仕事の予定はないため、変わらない。	
広告代理店（従業員）	・売上の落ち込みはないが、金額競争等が増え、利益率が厳しくなっている。	
広告代理店（営業担当）	・あまり大きな変化や起爆剤がないため、営業力を上げない限り厳しい。	
社会保険労務士	・良くなる要素が見当たらない。	
税理士	・世界の情勢次第なので、未知数である。	
経営コンサルタント	・県内に3店舗あるレストラン経営者の話では、「以前から深刻になっている原材料価格の高騰で、当店でも値上げの時期を引き延ばしてきたが、もう限界ということで夏のボーナスが出たあたりで実施を考えている。恐る恐るではあるが、やらないわけにはいかない。」とのことである。	
その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・燃料費、材料費などが値上げ傾向にあり、その値上げ分を価格に転嫁できない状態がしばらく続く。さらにここへきて、ユーロ圏を震源とする経済不安がどのように影響してくるのか心配である。	
その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	・見積依頼は増えてきているが、成約率や受注単価はそれほど変わっていない。人手不足も慢性的になっているので、現状維持である。	
その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	・新規の仕事の受注見通しがいい状態で、レギュラーの仕事を守守するのみである。	
その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	・マンションのインターネット環境整備についての受注量が若干伸びていないが、大きな要因は見当たらない。今後も大きな変化はなく、当面、微増微減の状況が継続するとみている。	
やや悪くなる	出版・印刷・同関連産業（所長）	・ボーナス時期で多少は期待していた部分もあったが、動きが鈍い。
出版・印刷・同関連産業（総務担当）	・物価が上がったと顕著に感じるようになってきたが、それに対応した価格では仕事が受注できない。	
金属製品製造業（経営者）	・新規の客を開拓しても価格が安く、利益に結び付かず大変である。精密機械加工部門は特に仕事量が少なく、どうしても価格競争になってしまう。	
精密機械器具製造業（経営者）	・円安による原料費の高騰、電気料金値上げ、客先の支払条件変更、外注集約、海外生産移管など、製造業の環境は決して良くない。	
輸送業（経営者）	・事業活動で非常に利益の出ている企業はあまりなく、株価上昇分で補っているようである。本来の事業活動が活発にならないと、景気を判断するには少し難しい。	
輸送業（経営者）	・燃料費、高速道路料金、自動車の高騰ですべてが高くなっているが、変わらないものはただ1つ、運賃だけである。	
輸送業（経営者）	・荷主業界が大変厳しい経営環境にあるため、自社の対応策では現況からの脱出は難しい。また、燃料費が値上がり傾向にあり、先行きに明るさがみえない。	



		輸送業（営業担当）	・主力取引先の1社との契約更新ができず、来月から売上の減少が必至となる。
		輸送業（総務担当）	・当面、国内製品の出荷量は低調が続くようである。
		広告代理店（経営者）	・昨年度末に取引先から言われていた予算削減案件が、これからも続く一方、新規の提案の努力はしているものの、受注のめどは全く立っていない。
	悪くなる		
雇用 関連  (南関東)	良くなる	人材派遣会社（営業担当）	・企業側も従来の求人方法だけではなく、新卒、既卒、派遣を含めた求職者に対して費用をかけて、採用を検討している。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・お盆明けから9月にかけては相当の盛り上がりがある。今から30件以上の話が来ており、これから季節的にもっと伸びるため、2.5倍ぐらいのかなりの増大が見込める予定である。
	やや良くなる	人材派遣会社（営業担当）	・求人数が増えている。しばらくはこの状況が続くようである。
人材派遣会社（営業担当）		・求人件数が増加しており、求職者数も増加している。また、人材の流動化がより活発となってきており、ますます人材ビジネスが活性化され、周辺の景気は良くなってくる。	
求人情報誌製作会社（編集者）		・学生が有利な採用局面は、来年以降も継続する。	
求人情報誌製作会社（営業担当）		・企業は賞与支給が終わり、これから採用としては一番良い時期となるので、今後増えていく可能性がある。	
求人情報誌製作会社（広報担当）		・周辺企業では多忙で人手が足りないというような話を耳にする。案件が多くなってきているように感じる。	
職業安定所（職員）		・有効求人倍率の状況を見ると、平成27年1月の1.14倍をピークに減少に転じている。5月の有効求職者数は、前年同月比マイナス7.6%である。	
職業安定所（職員）		・1月以降、新規求人倍率が前年を上回っている。	
民間職業紹介機関（経営者）		・新規プロジェクトの要員確保を始めようとしている。	
民間職業紹介機関（経営者）		・現在の状況は半年前と比べると期待感が強くなってきている。	
学校〔大学〕（就職担当）		・世間が夏休みを迎え、旅行や外出、買物など多方面の出費が増加する。	
変わらない	人材派遣会社（社員）	・経営者と話をしたが、原材料を外国に頼っているところは非常に厳しく、円安傾向がやや強すぎるのではないかと感じている。国内の産業の見通しはあまり良くないという人が多い。	
	人材派遣会社（社員）	・求人需要は依然活況であり、各業界で人手不足感が強まっているが、人材を確保できない企業が多数みられる。広告出稿を控える、サイズダウン等、受注単価の下落で売上に影響が出る。	
	人材派遣会社（社員）	・人材不足が慢性化しているため、企業からの求人は堅調に推移する。	
	人材派遣会社（社員）	・景気が良くなる要素が見当たらない。	
	人材派遣会社（支店長）	・他社との派遣社員の争奪が激しく、支払時給相場も上がってきている。企業への値上げ交渉次第だが、企業側の反応は厳しく、調達が難しくなっている。	
	人材派遣会社（支店長）	・労働者派遣法改正により、業界の景気がどのようになるのかまだ分からない。	
	職業安定所（職員）	・5月の新規求人数は減少したものの、それ以上に新規求職者数も減少しているため、先行きは変わらない。	
	職業安定所（職員）	・景気の動向に影響を及ぼすような情報は得られていない。	
	職業安定所（職員）	・求人倍率が前年同月よりは高い数字を示しているものの、ここ1～2か月はやや頭打ち状態になっている。	
	民間職業紹介機関（職員）	・中途採用に関しては、一時的に新卒採用時期がずれたことによる影響を受けるが、新卒採用確保が厳しいので、第2新卒採用がこれから増えていく可能性が高い。	
やや悪くなる	職業安定所（職員）	・欧州のギリシャ問題でユーロ安、円高が進んだ場合、今後、日本の輸出産業への影響が考えられ、企業の生産活動の縮小から雇用情勢に影響が出るかもしれない。	
悪くなる			